

## 月報だより

月報だよりの原稿は毎月 20 日締切、翌月に発行の「天文月報」に掲載致します。校正をお願いしておりますので、締切日よりなるべく早めにお申し込み下さい。

e-mail で [jimu@geppou.asj.or.jp](mailto:jimu@geppou.asj.or.jp) 宛、なお、原稿も必ず Fax で 0422-31-5487 迄お送り下さい。

## 人事公募

標準書式：なるべく、以下の項目にしたがってご投稿下さい。結果は必ずお知らせください。

1. 募集人員（ポスト・人数など）、2. (1) 所属部門・所属講座、(2) 勤務地、3. 専門分野、4. 職務内容・担当科目、5. (1) 着任時期、(2) 任期、6. 応募資格、7. 提出書類、8. 応募締切・受付期間、9. (1) 提出先、(2) 問合せ先、10. 応募上の注意、11. その他（待遇など）

## 独立行政法人通信総合研究所研究職員公募

1. 研究職員・数名程度
2. (1) 情報通信部門、無線通信部門、電磁波計測部門、基礎先端部門  
(2) 東京、京都、鹿島、横須賀、神戸など
3. 通信ネットワーク、(情報通信)ヒューマンコミュニケーション、無線通信システム・電磁環境、宇宙通信システム・衛星測位、地球環境計測、宇宙天気予報、標準周波数・標準時・高精度時空計測、光情報通信、情報通信のための材料・デバイス、生物情報
5. (1) 原則として 2003 年 4 月 1 日  
(2) 36 歳未満は原則として 3 年間任期付（選考採用の場合、試験採用は任期無）
6. 採用時に博士学位を有する等の条件を満たすことが必要
7. ○事前訪問票(指定様式)、○研究経歴書、○論文リスト、○主要な研究業績

8. 2002 年 8 月 31 日(随時受付)
9. (1) 〒184-8795 東京都小金井市貫井北町 4-2-1  
通信総合研究所  
総務部総務室人事 G  
(2) Tel: 042-327-7625  
E-mail [jinjig@ml.crl.go.jp](mailto:jinjig@ml.crl.go.jp)
10. 応募資格、提出書類等の詳細な情報は <http://www.crl.go.jp/> をご覧ください

## 研究助成

## 第 16 回日本 IBM 科学賞

日本天文学会に標記の案内がきております。その概要をお知らせします。推薦書類は天文学会事務所にありますからお申し出下さい。

名称：日本 IBM 科学賞  
目的：わが国における基礎研究の振興と若手研究者の育成

候補者資格：

- 1) 国内の大学あるいは公的研究機関に所属し、その研究活動の分野が、つぎのような領域に該当する基礎研究者（国籍は問わない）

- (1) 物理
- (2) 化学
- (3) コンピューターサイエンス
- (4) エレクトロニクス

2) 平成 14 年 8 月 15 日現在満 45 歳以下であること  
受賞件数：6 件（原則として 1 件 1 名とします）

推薦方法：国内の大学あるいは公的研究機関等に所属されている方の推薦

締切：2002 年 8 月 15 日(木)の消印まで有効。

選考：審査委員会により決定する

賞金：300 万円（1 件当たり）副賞はメダル、他

発表：推薦者を通じて通知（10 月下旬予定）

送付先：〒106-8711 東京都港区六本木 3-2-12

日本アイ・ビー・エム株式会社

「日本 IBM 科学賞」事務局 (HQ-YA4)

連絡先：

【事務局】Tel: 03-5563-4835

Fax: 03-5563-4878

E-Mail [science@jp.ibm.com](mailto:science@jp.ibm.com)

日本 IBM ホームページ「科学の扉」

<http://www-6.ibm.com/jp/company/society/science/index.html>

日産科学賞等について

第 10 回日産科学賞候補者推薦要領

1. 趣旨  
若手・中堅の研究者で、特に顕著な業績にたいして表彰し、励ましと研究の発展を期待して支援をする。
2. 推薦基準  
自然科学分野（人文・社会科学分野との複合領域を含む）で、下記により学術文化の向上発展に大きな貢献をした日本の公的研究機関に所属する新進気鋭の研究者とします。  
a) 学術研究上重要な発見をした  
b) 新しい研究分野を開拓した
3. 推薦者：学会の代表者
4. 推薦依頼数：1名
5. 賞の内容：  
正賞……賞状、金メダル  
副賞……賞金 500 万円（用途は自由ですが一時所得として後日申告が必要）
6. 賞の贈呈：平成 15 年 3 月
7. 推薦手続：所定の用紙に必要事項を記入し天文学会事務所に提出して下さい。（用紙は学会事務所に用意してあります。）
8. 推薦締切：平成 14 年 8 月 2 日(金)

第 29 回日産学術研究助成募集要項

助成プログラムの要約

1. 助成の対象分野
  - (1) 総合研究
    - ◆ 研究課題
      1. 「人間－自然環境系」に関する研究
      2. 「人間－人工環境系」に関する研究
  - (2) 奨励研究
    - ◆ 研究課題
      1. 人間特性に関する基礎研究
      2. 地球表層環境に関する基礎研究
      3. 新機能材料の創製、物性・新プロセスに関する基礎研究
      4. 生命現象の理解に関する基礎研究
2. 申請者の資格等  
日本の大学など非営利の学術研究機関に所属勤務する研究者（国籍不問）であること。

3. 応募方法  
6 月 1 日よりホームページからダウンロードできます。
4. 申請方法  
(1) 総合研究・奨励研究ともに財団直接公募  
(2) 奨励研究  
他の学術研究費、研究助成金などの重複申請は極力避けて下さい。
5. 提出期限  
平成 14 年 8 月 30 日(金) 17 時日産科学振興財団到着分までとします。
6. 資料請求・問い合わせ先  
財団法人日産科学振興財団  
〒 104-0061 東京都中央区銀座 6-16-9  
Tel: 03-3543-5597 Fax: 03-3543-5598  
e-mail at02-nsj@t3.rim.or.jp  
URL http://www.t3.rim.or.jp/~at02-nsj

〈助成プログラムの要約〉

研究の種別	総合研究	奨励研究
研究の性格	学際的共同研究	独創的個人研究
対象分野	2 課題	4 課題
対象研究者	制限なし	ポスドク・助手クラスの若手研究者
1 件当たりの助成金額(採択予定件数)	～ 1000 万円 (10 件程度)	～ 200 万円 (15 件程度)
助成金の支払期間	・平成 15 年度を第 1 年次とする ・助成期間 2 ～ 3 年	・平成 15 年度を第 1 年次とする ・助成期間 1 年
募集方法	財団直接公募	

## 研究会・集会案内

## 東京大学天文学教育研究センター木曾観測所及び名古屋大学太陽風観測所の特別公開について

日 時：2002年8月10日(土)

：展示と解説 10時～17時

天体観望会 19時半～21時半

開催場所：〒397-0101 長野県木曾郡三岳村 10762-30

Tel: 0264-52-3360

Fax: 0264-52-3361

内 容：東京大学木曾観測所及び名古屋大学太陽風観測所を一般の皆様へ公開いたします。普段見ることのできない望遠鏡の動きや、測定装置を見学できるほか、観測所の最新の研究成果が見られます。また、当日の夜には、大型シュミット望遠鏡と小望遠鏡を用いて天体観望会を開きます。

- 1) 木曾観測所及び太陽風観測所の公開と説明
- 2) 望遠鏡のデモンストレーション
- 3) 研究活動の紹介
- 4) 天体写真の展示及び販売
- 5) 天体観望会(雨天中止)

備 考：当施設への交通手段については、JR 中央西線木曾福島駅あるいは上松駅より車で約30分です。観測所から6 kmのところまでバスの便があります(1日数本)。

清涼飲料の販売はいたしますが、食堂はありませんのでご注意ください。

問い合わせ先：

木曾観測所：

〒397-0101 長野県木曾郡三岳村 10762-30

Tel: 0264-52-3360

Fax: 0264-52-3361

<http://www.ioa.s.u-tokyo.ac.jp/kisohp>

太陽地球環境研究所：

〒442-0061 愛知県豊川市穂の原 3-13

Tel: 0533-89-5175

Fax: 0533-85-3882

<http://stesun5.stelab.nagoya-u.ac.jp>

## 国立天文台野辺山 特別公開のお知らせ

文部科学省国立天文台

電波天文学研究系

野辺山宇宙電波観測所

野辺山太陽電波観測所

国立天文台野辺山では、天文知識の普及と観測所業務の広報とを目的として、下記の要領で、特別公開を開催いたしますのでご案内申し上げます。

日 時：2002年8月31日(土)

午前9時30分から午後4時まで

(入場は午後3時30分まで)

内 容：

- (1) 見学 通常の見学コースのほか、45メートル電波望遠鏡・ミリ波干渉計・電波ヘリオグラフの各観測室、観測データを処理する計算機などを見学できます。
- (2) 展示 宇宙・太陽からやってくる電波をとらえる観測装置のしくみや、最新の観測結果を展示します。
- (3) 講演  
「電波で見る太陽系」長谷川 均 13:30～14:30  
他1講演
- (4) その他工作体験コーナー・質問コーナーなど

交 通：

・鉄道→JR 小海線野辺山駅下車徒歩30分

(駅からの無料シャトルバスを運行)

・自動車→東京・名古屋方面から：中央自動車道長坂インターから清里高原有料道路を経て約30分。  
須玉インターから国道141号を経て約40分。

→群馬方面から：上信越自動車道佐久インターから国道141号線を臼田・清里方面へ約80分。

その他：

・入場無料・雨天決行

・上履き(スリッパなど)を各自ご持参ください。

・天文台内では食事の提供・販売はいたしませんのでご了承ください。

・天文台入口駐車場は大型バス・障害者専用となります。その他の自動車の方は、野辺山スキー場の駐車場をご利用ください(スキー場からの無料シャトルバスを運行)。

・特別公開当日は、会場準備の都合上9:30～16:00のみのお開場となります。

問い合わせ先：

〒384-1305 長野県南佐久郡南牧村野辺山

国立天文台野辺山

Tel: 0267-98-4300 (代表)

ホームページ <http://www.nro.nao.ac.jp/~openday>

鹿島宇宙通信研究センター施設一般公開のお知らせ

独立行政法人通信総合研究所鹿島宇宙通信研究センターでは、下記のように施設の一般公開（無料）を行います。詳細については、後日鹿島宇宙通信研究センターのホームページで御案内致します。

【日時】2002年8月3日(土) 午前10時～午後4時

【場所】茨城県鹿嶋市平井 893-1  
独立行政法人通信総合研究所  
鹿島宇宙通信研究センター

【最寄り交通機関】

・東京方面より

東京駅八重洲南口4番乗り場発「鹿島神宮」行きバス乗車「鹿島宇宙通信センター前」下車。1時間に3～5本運行。八重洲南口からの所要時間約2時間、料金1,780円（こども890円）

◎「鹿島神宮」行きの中には「鹿島宇宙通信センター前」を通らないものがあるので、御乗車の際に御確認下さい。

・鉄道の利用

最寄り駅はJR鹿島線鹿島神宮駅。駅から鹿島宇宙通信研究センターまでの距離は3.5km程度。従来は駅からセンターまで関東鉄道バス（Tel: 0299-82-1291）の「宇宙通信センター」行きが利用できたのですが、現時点では土曜日は運休しております。一般公開当日もこのままであった場合には、タクシー等を御利用下さい。

【内容】研究所展示室の公開、各研究グループの研究紹介等

【問合せ先】Tel: 0299-82-1211

【参考ホームページ】

<http://www2.crl.go.jp/ka/index-j.html>

2002年度高校生天体観測ネットワーク（Astro-HS 2002）の実施について

高校生天体観測ネットワーク運営委員会  
<http://www.astro-hs.net/>

私たちは、昨年11月にしし座流星群の大出現と遭遇しました。高校生天体観測ネットワークに参加した全国約1800名の高校生たちは、全国各地で同時に空を見上げ、多彩な観測を行いました。また昨年は8月に木星食が起り、貴重な天文現象を観測しました。

今年は6月に日本では久々の部分日食が起ります。加えて太陽面活動もここ数年活発で、興味深い太陽の姿を見ることが出来ます。また夏休みに極大を迎えるペルセウス座流星群は月明りもなく絶好の条件下で観測が可能です。これらの天文現象は、誰でも簡単に楽しむことができます。

高校生天体観測ネットワークでは、単に楽しむだけではなく、両方の現象に対してサイエンスもします。プロの観測者とは異なり、多くの観測者が全国に散らばっているため、日食全体の進行やメカニズム、流星群の分布図などを描くことができます。

天体観測の経験の有無、知識は全く関係ありません。宇宙へ挑戦しようとする高校生のみ皆さんの参加を募集しています。

◆高校生天体観測ネットワークについて

1998年、しし座流星群の出現を機会に「しし座流星群全国高校生同時観測会」が始まり、約2600名の高校生が参加しました。1999年には海外の高校生も加わり、2000年からしし座流星群以外の現象にも取り組み、名称が「高校生天体観測ネットワーク」となりました。2001年は大出現をしたしし座流星群と、木星が月に隠されるという珍しい現象「木星食」を全国の高校生で観測しました。この4年間に延べ10,000人を越える高校生が参加しています。

観測会では単に楽しむだけではなくサイエンスも行い、観測成果は高校生の手によって日本天文学会や各地の研究会やコンテストでも発表され、高い評価を得ています。昨年大出現したしし座流星群の結果は、5月2～4日に東京で開催された、NASA Leonid MAC 国際シンポジウムでも発表されました。

また、高校生たちは、天文をサイエンスすることの楽しさや難しさなどを経験して成長し、観測会を通じて地区ごとの新たな交流も始まっています。

## ◆本年の観測会

## ☆日食観測会

6月11日、日本全国で久々に部分日食が起こります。2000年には皆既月食を、2001年には木星食・土星食と食現象に対して取り組んできました。これまでの食現象とあわせて、理解を深めるには絶好の機会です。また、日食の経過を高校生の手で予報し、その予報を観測によって実際に確かめることにより、食現象のメカニズムを体験し、理解を深めたいと思います。

## ☆太陽表面現象観測会

7月下旬から9月にかけて実施する予定です。高校天文部の伝統的な観測方法だけでなく、新しい技術を使った、様々な観測を提案します。また、研究施設、社会教育施設と連携し、X線から電波まで含めた幅広い波長域で同時に太陽をとらえる「太陽観測週間」を設置し、ホームページ上で、観測結果を随時公開していく予定です。

## ☆ペルセウス座流星群観測会

8月13日の流星群の極大前後に実施します。合宿観測のノウハウ、新一年生への観測指導など、グループ運営のための経験交流をします。また、眼視観測、写真観測、電波観測、およびビデオ観測など、多彩な観測方法とその解析の仕方についても、学べるようにします。

## ◆参加方法

## ▽観測チーム

参加は高校生を中心としたグループ単位（チーム）で行います。チームには、必ず大人の責任者をおくこととします。たとえば、チームは高校・高専の天文部科学部、責任者として部活顧問が考えられます。また、学校のクラブでなくてもプラネタリウムや天文台、科学館などに集まる天文ファンと同好会の高校生のチームも考えられます。最小のチームは高校生1人と責任者（大人）1人です。参加後にチームを増員するのは自由です。なお、責任者は高校生の所属学校や保護者との相談対応が大切な役割です。天体観測のことをよく知らなくてもかまいません。高校生とともに勉強してください。

## ▽参加資料請求・登録

観測会への参加は、地区事務局を通じて申し込みをする方法と、高校生天体観測ネットワークホームページ <http://www.astro-hs.net/> から行う方法とがあります。

事務局からの送付される資料に入っている「登録葉書」を送ると登録が完了します。

## ▽観測方法・報告

観測は配布されるマニュアルにその方法が掲載されています。マニュアルは、ホームページからも得ることが可能です。事務局からの送付される資料の追加情

報なども掲載されますので、是非ご覧下さい。

(<http://www.astro-hs.net/>)

観測報告は各マニュアルに記載されている指定日までに、行ってください。

## ▽観測結果の公開・配布

報告された観測結果は、まずホームページ上で公開されます。そして、年度末に発行される集録に収め、すべての参加グループに配布します。昨年度と同様に、全国規模のフォーラムも企画しています。

## ▽その他

資料送付、登録、および集録などに関わる費用は、高校生天体観測ネットワークがすべて負担しますので、参加費はかかりません。

## ◆運営委員会・連絡先

▽高校生天体観測ネットワーク Astro-HS

▽代表（運営委員長）

渡部潤一（文部科学省・国立天文台）

▽連絡先（総合事務局）

E-mail [suzuki@astro-hs.net](mailto:suzuki@astro-hs.net)

Tel: 048-958-2331（9時～17時）

Fax: 048-949-1024（より確実です）

住所：〒341-0003 埼玉県三郷市彦成3-325

担当者：

鈴木文二（埼玉県立三郷工業技術高校・理科）

▽運営委員一覧

委員長／渡部潤一（文部科学省・国立天文台）

事務局／

鈴木文二（埼玉県立三郷工業技術高等学校）

有本淳一（京都市立塔南高等学校）

観測／

（部分日食）篠原秀雄（埼玉県立三郷北高等学校）

（ペルセ群）直井雅文（埼玉県立越谷北高等学校）

（太陽表面）矢治健太郎（かわべ天文公園）

WWW／山本雅之（岩手県立大学・学生）

system 管理／森下貴裕（岡山県立大学・学生）

新プロジェクト／小田桐茂良

（青森県立青森南高等学校）

広報・渉外／水野孝雄（東京学芸大学）

小川 宏（筑波大学・学生）

会計監査／高橋 淳

（ミュージアムパーク茨城県自然博物館）

## ◆地区事務局

・北海道事務局（北海道全域）

雁沢夏子 遺愛女子中学高校

Fax: 0138-51-7150

〒040-8543 北海道函館市杉並町23-11

E-mail [ganzawa@astro-hs.net](mailto:ganzawa@astro-hs.net)

浦 巧 北海道中標津高校

Fax: 01537-2-2492

〒 086-1106 北海道標津郡中標津町西 6 条南 5 丁目

E-mail [ura@astro-hs.net](mailto:ura@astro-hs.net)

・東北事務局 (青森・岩手・秋田・宮城・山形・福島)

鎌塚吉忠 青森県立弘前高校

Fax: 0172-32-3227

〒 036-8558 青森県弘前市新寺町 1-1

E-mail [kamazuka@astro-hs.net](mailto:kamazuka@astro-hs.net)

北爪 均 宮城県立仙台第一高校

Fax: 022-257-4503

〒 984-8561 宮城県仙台市元茶畑 4

E-mail [kitadume@astro-hs.net](mailto:kitadume@astro-hs.net)

・関東事務局 (栃木・茨城・群馬・埼玉・千葉・東京・神奈川・山梨)

田邊康夫 東京大学附属中等教育学校

Fax: 03-3377-3415

〒 164-8654 東京都中野区南台 1-15-1

E-mail [tanabe@astro-hs.net](mailto:tanabe@astro-hs.net)

・東海事務局 (静岡・愛知・岐阜・三重)

山田義明 椋山女学園中・高校

Fax: 052-751-8565

〒 464-0832 愛知県名古屋市中千種区山添町 2-2

E-mail [yamada@astro-hs.net](mailto:yamada@astro-hs.net)

・中部・北陸事務局 (長野・新潟・富山・石川・福井)

松井 聡 長野県立上田高校

FAX: 0268-23-5390

〒 386-0024 長野県上田市大手 1-4-32

E-mail [matsui@astro-hs.net](mailto:matsui@astro-hs.net)

・近畿事務局 (滋賀・京都・奈良・大阪・兵庫・和歌山)

寺戸 真 大阪府立岸和田高校

Fax: 0724-32-5266

〒 596-0073 大阪府岸和田市岸城町 10-1

E-mail [crado@astro-hs.net](mailto:crado@astro-hs.net)

・中国・四国事務局 (岡山・広島・島根・鳥取・山口・香川・徳島・愛媛・高知)

畠 浩二 岡山商科大学附属高校

FAX: 086-254-8864

〒 700-0807 岡山県岡山市南方 5-2-45

E-mail [hata@astro-hs.net](mailto:hata@astro-hs.net)

・九州事務局 (福岡・大分・佐賀・長崎・宮崎・熊本・鹿児島)

前田利久 鹿児島県総合教育センター

Fax: 099-294-2309

〒 891-1393 鹿児島県鹿児島郡吉田町宮之浦 862

E-mail [maeda@astro-hs.net](mailto:maeda@astro-hs.net)

・沖縄事務局 (沖縄全域)

永井秀行 沖縄県立普天間高校地学教室

Fax: 098-893-5888

〒 901-2202 沖縄県宜野湾市普天間 1-24-1

E-mail [nagai@astro-hs.net](mailto:nagai@astro-hs.net)

・総合事務局

鈴木文二 埼玉県立三郷工業技術高校

Fax: 048-949-1024

〒 341-0003 埼玉県三郷市彦成 3-325

E-mail [suzuki@astro-hs.net](mailto:suzuki@astro-hs.net)

有本淳一 京都市立塔南高校地学科

Fax: 075-682-7107

〒 601-8348 京都府京都市南区吉祥院観音堂町 41

E-mail [arimoto@astro-hs.net](mailto:arimoto@astro-hs.net)

◆共催・後援 (予定含む)

▽共催

天文教育普及研究会, 日本天文学会,  
日本惑星科学会, 東亜天文学会

▽後援

文部科学省・国立天文台, 天文学振興財団,  
文部科学省・宇宙科学研究所,  
京都大学附属花山天文台,  
通信総合研究所平磯太陽観測センター,  
日本理科教育学会, 日本地学教育学会,  
日本理科教育協会, 日本流星研究会,  
日本プラネタリウム協会, 日本プラネタリウム研究会,  
日本HOU協会, 全日本プラネタリウム連絡協議会,  
全国天体観測施設の会, 太陽研究者連絡会,  
全国科学博物館協議会, 掩蔽観測グループ,  
ライブユニバース, 東京近郊地区流星観測者会

編集委員 上野孝宗 (編集長), 伊藤孝士, 上田暁俊, 大石奈緒子, 太田耕司,

小野智子, 斎藤芳隆, 土橋一仁, 内藤統也, 藤田 裕

平成 14 年 6 月 20 日 発行人 〒 181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会

印刷発行 印刷所 〒 162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町 565-12 啓文堂 松本印刷

定価 700 円 (本体 667 円) 発行所 〒 181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会

Tel: 0422-31-1359 (事務室) / 0422-31-5488 (月報・欧文編集) Fax: 0422-31-5487 振替口座 00160-1-13595

日本天文学会のウェブサイト <http://www.asj.or.jp/> 月報編集 e-mail: [geppou@asj.or.jp](mailto:geppou@asj.or.jp) DTP: 峯尾由紀子